

<加味逍遙散（医療用）> 症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	女 60代	うつ病 (高血圧, 過敏性腸症候群, 気管支喘息)	7.5g 約10年	特発性腸間膜静脈硬化症	
				発現9年以前	うつ病に対し本剤服用開始。
				発現日	腹痛・嘔吐出現にて近医受診。 腹部X線検査にて腸閉塞の診断。 当院受診・入院（9日間）。 以後腸閉塞症状にて入退院繰り返す。
				発現154日後	腹痛・嘔吐, 入院（8日間）。
				発現164日後	腹痛・嘔吐, 入院（10日間）。
				発現177日後 (投与中止日)	腹痛・嘔吐, 精査・加療目的入院。 腹部X線にて右側腹部に網目状石灰化。 腹部造影CTにて盲腸～上行結腸に腸管壁及び付随腸間膜内に線状石灰化。 注腸X線にて上行結腸び慢性狭小化, 盲腸～横行結腸右側拇指圧痕像。 (確定診断: 特発性腸間膜静脈硬化症) 本剤投与中止。
				中止16日後 (手術日)	腹腔鏡補助下右半結腸切除術施行。 手術時: 盲腸～肝彎曲部漿膜面暗紫色, 腸管及び結腸間膜硬化。 組織検査にて粘膜固有層～粘膜下層間質に硝子様物質(コンゴレッド染色陰性)沈着。
				手術12日後	軽快退院。
手術36日後	回復。				
併用薬: フルボキサミンマレイン酸塩, クロチアゼパム, ブロマゼパム, ラクトミン, タンニン酸アルブミン, メペンゾラート臭化物, エチゾラム, プランルカスト水和物, ブナゾシン塩酸塩, マプロチリン塩酸塩, タカチアスターゼ・生薬配合剤					

<辛夷清肺湯（医療用）> 症例の概要

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用		
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置		
1	男 50代	気管支拡張症, アレルギー性 鼻炎 (なし)	7.5g 約24年	腸間膜静脈硬化症		
				発現 23 年以前	気管支拡張症, アレルギー性鼻炎に対し本剤投与開始。	
				発現日	右側腹部痛, 軟便出現し, 改善せず。	
				発現 3 日後	当院受診。37°C, 血圧 97/73mmHg, 脈拍 92/分。右下腹部に軽度圧痛あり。 抗生剤, 整腸剤処方。	
				発現 4 日後 (投与中止日)	右下腹部圧痛増強, 腹部造影CTにて 盲腸～上行結腸の拡張, 周囲炎症像, 腸間膜静脈の石灰 化を認め, 入院。 絶食, 補液, セフメタゾールナトリウム 2g/日にて治療 開始。 本剤投与中止。	
				中止 1 日後	37.9°C, 腹痛増強し, 鎮痛剤で対処。 (診断: 腸間膜静脈硬化症) その後次第に症状軽減。	
				中止 8 日後	重湯, 流動菜開始。便培養陰性。	
				中止 10 日後	3 分粥, 3 分菜。	
中止 12 日後	軽快, 退院。					
臨床検査値						
				発現 240 日目	中止 2 日後	中止 12 日後
RBC (10 ⁴ cells/mm ³)				434	417	431
Hb (g/dL)				13.2	12.6	12.9
Ht (%)				40.5	37.8	39.1
PLT (10 ⁴ cells/mm ³)				18.0	23.2	29.9
WBC (cells/mm ³)				4,410	9,820	4,300
CRP (mg/dL)				0.05 以下	18.94	1.40
併用薬: エリスロマイシステアリン酸塩, メキタジン, アンプロキシソール塩酸塩, プロナーゼ						